

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	環境心理学学術用語集WG	主 査 名：山田 由紀子
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会(企画刊行小委員会)	委員長名：鉾井 修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	学際的分野である環境心理生理は、英語の論文を書く場合や文献を読む場合など、訳読に困ることがある。そこで、この分野の用語の英訳及び和訳がすぐに分かる用語集を作ることを目的とした。 これまでに原稿は全部集まり、2003 年度は各分野の整合を行なった。刊行の予定は 2005 年 3 月である。	
委員構成 (委員名(所属))	(主査)山田 由紀子(明治大学) (幹事)辻村 壮平(明治大学) 小久保 隆之(明治大学) (委員)有川 智(国土技術政策総合研究所) 伊藤 俊介(東京電機大学) 岩田 利枝(東海大学) 大井 尚行(九州芸術工科大学) 河口 豊(広島国際大学) 木村 通治(埼玉短期大学) 小島 隆矢(独立行政法人建築研究所) 園田 真理子(明治大学) 橋本 修左(武蔵野女子大学) 堀 祐治(独立行政法人建築研究所) 村松 陸雄(武蔵野女子大学) 安永 幸子(学習院大学)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	130,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年度は、11 回 WG を開催した。開催時間は平均で 5 時間/回で、参加人数に関しては、5.6 人/回であった。2004 年度は、毎月 1 回以上は WG を開催する予定であり、WG の開催予定回数を 12 回以上と考えている。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) これまで、視環境、音環境、温熱環境、バリアフリー、計画分野、心理学、生理学など環境心理生理に関係のある分野の担当者を決めた。各分野で出版されている用語事典を全てチェックし、用語をひろい、全原稿が集まった。現在、分野別の用語の粗密や学会によって異なる英訳・和訳のチェックを行なっている。 2003 年度中に全ての原稿は集まっており、現在では、各分野で提出された用語に粗密があるので、それらの整合の作業を行なっている。重複、過不足、採用・不採用などを検討するため、委員が長時間(例えば、10 時~16 時など)集まり、幹事が全原稿をエクセルで整理したものを「あ」から順にチェックを行ない、一般的でない用語の簡単な(2~3 行程度の)説明や英訳のニュアンスの違いなどを兼用している。現在の進捗状況として、五十音順で「け」で始まる用語までのチェックを終えている。また、各学会により、英訳が異なっていたり、間違っていたりするので、バイリンガルの委員も含め、全ての用語について一語ずつ検討を行なっている。  委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)  これまでと同様に、2004 年度も残りの用語に関して一語ずつ検討を行ない、2005 年 3 月刊行に向けて全てを完成させる。
その他評価すべき事項	